平成２４年８月６日
第５１号
日本テクノ協力会・日電協（水戸）発行

でんでん・みと情報

日立、英高速鉄道５９６両受注　　５５００億円規模

ロンドン五輪開会式の直前に発表

こんにちは。吾輩は猫のでんでんです。

いま、ロンドン・オリンピックで各国の代表選手が、善戦、健闘中だね。吾輩から見るとオリンピックは、人間さまたちが４年に１度夢を見る、最高の運動会のようだ。

人間さまに運動会なんて言うと叱られるかな。人間さまたちは、国をあげて栄光と名誉を得るため、メダルとりに全力を尽くすんだ。

日本政府は、メダルをとるための強化予算を、２００８年度の約２億円から２０１２年度は約２７億５０００万円と、４年間で１４倍に増額している。

いまの日本の政治は、「決められない政治」、「政治家たちが国の将来よりも自分の将来を案じて行動している」と、大変評判が悪いね。吾輩も同感だが、ロンドン・オリンピックの開会式直前の７月２５日に、国際親善と国益に役立つ良い例が発表されたね。

日立製作所が英政府と高速鉄道事業を正式契約した、と。

【日立製作所は、ロンドン・オリンピックに備えた高速シャトル列車１７４両を、２００７（平成１９）年８月から納入し、現在運行中。それが８月４日にテレビで放映された】

今回の契約は、５９６両の製造や約２７年間の保守業務を請け負うもので、事業規模は約５５００億円。

２０１７年からロンドン―エディンバラなど主要都市間の路線に最高速度２００ｋｍの新車両を導入する。追加で５００両を受注する可能性もあるようだ。

今回の受注では、日本政府も金融面などで支援してきた。藤村・官房長官と、羽田・国土交通相は、７月２５日の記者会見でそれぞれ談話を発表しているね。「政府を含めたオールジャパンでの取り組みが評価された結果」、「鉄道発祥の地で我が国の鉄道技術が貢献できるのは大変、喜ばしい」と。

このようなことが日本を豊かにし、メダルを多くとるための重点強化予算も増やせるんだよ。日夜、地道に頑張っているメーカーの技術者や営業関係者など、多数の皆さんに心から敬意を表したいね。

ただ、一般の国民の皆さんは、多くのメダルをとってもらおうと、テレビ観戦などで熱心に応援することが大事だね。

それにしても、人間さまたちは、感動、歓喜するものを計画し、作りだすものだね。大勢の人間さまたちは、好奇心旺盛にそこに押しかけ、それに共感し、大騒ぎするんだね。

東京スカイツリーはオールジャパンの最優秀製品

電 波 障 害 対 策 で 建設
「世界一高いタワー」とギネス世界記録に認定

その一例が、ことし５月２２日に開業した東京スカイツリー（以後スカイツリー）のことだ。連日、人間の皆さんは、この暑いのに出かけて大騒ぎしている。

親方も７月１５日の猛暑日に、スカイツリーの展望台に上がってきた。当日券で入場したので、約３時間も並んだとのこと。

待つ場所は、４階のスカイツリー入口フロア（出口は５階フロア）。そこは露天部分なので、熱中症になる寸前だったと、親方はぼやいていたね。ご苦労なことだったよ。感想を聞いてみよう。

でんでん　あいかわらずもの好きだね。この暑いのに何に興味をもって出かけたのかね。
難しい技術的なことではなく観光気分の感想を聞きたいね。
まず、スカイツリーとは、一言でいうと何なのかね。

親方　でんでんクン、きみは最初から厳しいことを聞くね。でんでん・みと情報は本号で５１号になるが、今回のように難しいテーマは初めてだね。

スカイツリーは、日本の有力企業が世界最高の技術を駆使してつくったもの、つまりオールジャパンが生みだした最優秀製品なんだよ。「世界一高いタワー」としてギネス世界記録に認定されている。

今回は、土木、建築、機械、材料など多くの知識、経験がないとうまく説明できないので、でんでんクンの言うように観光気分で、ポイントを絞って説明したい。了解してくれたまえ。

スカイツリーは、つぎのために建てられたのである。

一言でいうと、「東京都心部では、２００mを超える超高層ビルが林立し、そのビルの陰では電波障害がおきている。それを解消するため、６００m級の電波塔からの安定した送信が必要である。さらに携帯端末向けのデジタル放送サービス『ワンセグ』（注１）も拡大できる」

そこに取り付けるアンテナをつくったのが、われわれが住んでいる茨城県ひたちなか市から北へ約３０ｋmの日立市にある日立電線、高砂工場なんだ。

私がスカイツリーのアンテナに興味をもったのは、近所にその工場関係者がいるせいもあるね。

（注１）『ワンセグ』：携帯端末やカーナビなどで地上デジを受信できる放送サービス。地上デジは電波を１３のセグメント（区画）に分けて送信しており、家庭のテレビはそのうちの１２セグメントを使っている。残りの

１区画で小さな画面の機器向けに送信するので、「ワンセグメント」（ワンセグ）と呼んでいる。

スカイツリーの送信アンテナは地上５００ｍに

素子（１面）が高さ１．５ｍ、幅４０ｃｍ、重さ５０ｋｇの大きさ
素子は小柄な人の体格　　合計６４０面を円周配置

でんでん　スカイツリーのアンテナの概要をわかりやすく説明してくれないかね。

親方　でんでんクン、関心があるね。アンテナといえば、細い棒が並んだ〝八木アンテナ〟や丸い皿のような〝パラボラアンテナ〟を思い浮かべるが、それとは違うんだよ。あれは受信用のアンテナだ。

デジタル放送の送信用アンテナ素子（１面）は、銅製で高さが１．５ｍ、幅が４０ｃｍ、重さが５０ｋｇもあるんだ。小柄な人の体格だね。これは藍白（あいじろ）のＦＲＰ（繊維強化プラスチック）でカバーされ、その裏側にはｽﾃﾝﾚｽの反射板が付いている。

これが地上約５００ｍより上部の「ゲイン搭」と呼ばれる部分に取り付けられているんだよ。

次にその数がどのくらいあるかを話しておく。

「ゲイン搭」本体の全周に４０面のアンテナが、たてに４段とりつけられ、これをひとつのユニットとしている。ひとつのユニットでふたつの電波を受けもっている。このユニットがさらにたてに４つ並んでいるので、合計すると、なんと６４０面ものアンテナが付いているんだよ。

これを多面合成アンテナ方式というが、全周で４０面も並べたものはないね。

自立式（本体のみで地上に建つ）鉄塔としての高さは世界一だが、アンテナとしての規模も世界一といえる。

スカイツリーを眺めると、最上部に藍白（あいじろ）のトウモロコシが４個重なっているように見える。それがアンテナだよ。

いま、東京タワーにあるＮＨＫ、日本テレビ、ＴＢＳ、フジテレビ、テレビ朝日、テレビ東京、６社の送信所が、スカイツリーに移転するのは２０１３年１月になる。

でんでん　それにしても人間さまたちは、なぜ、電波を安定送信するために建てた東京スカイツリーに向かって大勢押しかけ、騒いでいるのかね。何が面白いんだろうなあ。

親方　でんでんクンの言うとおりだ。さかんにスカイツリーの人気ぶりが次のように報道されている。

スカイツリーは、東武タワースカイツリー社（以後スカイツリー社）が、運営している。同社は７月２２日、スカイツリーと、隣接する商業施設・東京ソラマ

チ（以後ソラマチ）を合わせた来場者数が、５月２２日の開業から７月２１日までの２ヶ月間で１０２９万人に達したと発表したね。

スカイツリー社は、オープン後の１年間にスカイツリー来場者５４０万人、タウン全体では２５００万人と見込んでいる。

これは東京ディズニーリゾート（千葉県）の年間入場者合計の１.３倍だ。

また、スカイツリー社は、経済波及効果は８８０億円、新たに４６００人の雇用を生むと試算している。

スカイツリーのタワーとタウンを同時建設

総事業費１４３０億円＝タウン費７８０億円＋タワー費６５０億円

でんでん　デジタル送信用の電波塔だけを作ったのかと思っていたが、商業施設「ソラマチ」が出てくるとは内容が違うね。それを説明してくれるかね。

親方　そうか。説明不足だったね。電波塔と一緒に大きな街をつくったのだよ。そこが人間さまの賢いところだ。

でんでん　大きな街まであわせてつくるとは、かなり金もかかったろうね。

親方　でんでんクン、君は予算を気にするのか。たいしたものだ。

スカイツリーの総事業費は約１４３０億円で、街を作るのに７８０億円、タワー建設に約６５０億円を使うビッグプロジェクトだったんだ。

スカイツリーの総重量３万６０００ｔ　東京タワーの１０倍

鉄骨の組立点数は３万７０００点

スカイツリーを中心に、周辺に商業施設などが入った一大タウンができあがった。そのあらましを話そう。

まず、世界中が注目する日本の新しいシンボルとなったスカイツリーについて説明する。

２０１２年5月２２日に、グランドオープンしたスカイツリーの高さは、世界Ｉの地上６３４m。この６３４という数字は覚えてもらいやすいように、東京、埼玉、神奈川を含む旧国名〝武蔵の国〟にかけたゴロ合わせになっている。

工事をしたのは建設会社の大林組で、スカイツリーの大部分は、長さや太さの異なる約３万７０００点の鉄骨で作られている。

鉄骨の総重量だけで、なんと約３万６０００ｔ。東京タワーの鉄骨の総重量の約１０倍という巨大なものだ。

別路線の駅間（４００m）に東京スカイツリータウン造成

面積３.９ヘクタール（３９０m×１００m）

つぎに、スカイツリーの周辺にはさまざまな施設ができた。それを話そう。

スカイツリーの北西側に東武スカイツリーラインのスカイツリー駅があり、南東側には、都営浅草線の押上駅がある。駅間の距離は、４００m。

この両駅を結ぶ一帯にスカイツリーのある街、東京スカイツリータウンをつくったんだよ。その面積は、約３.９ヘクタール（３９０m×１００m）

東京スカイツリータウンには、スカイツリー本体、商業施設、オフィス、教育関連施設、水族館、プラネタリウムなどがあるんだ。

スカイツリータウンに商業施設「東京ソラマチ」出現

総面積・５万２０００㎡内で３１２店営業

これらをもっと区分してみよう。

◆東京スカイツリータウンは、スカイツリーを挟む形で、真ん中のタワー街区、東となりの東街区、西となりの西街区とに分かれている。

◆東となりの東街区には、地上３１階、地下３階の東京スカイツリーイーストタワーが建っている。各階の施設は次のとおり。

・商業施設ソラマチ　〓１階（下町風情の商店街）、２～４階（おみやげ・ファション、雑貨）、６～７階と３０～３１階（レストラン、カフェ）

・企業ＰＲフロア　〓５階

・教育施設　〓８～１１階

・オフィス　〓１２～２９階

・コニカミノルタプラネタリウム　〓７～８階の一部に並設

・駐車場　〓地下

◆西街区には地上６階、地下２階のビルがある。各階は次のような配置に。

・とうきょうスカイツリー駅　〓１階

・商業施設ソラマチ　〓１階（おみやげ、カフェ）、２階（生鮮食品、おみやげ）、３階（ラーメン、カレー、たこ焼きなどのフードコート）、４階（おみやげ、キャラクター）

・すみだ水族館　〓５～６階

・駐車場　〓地下

でんでん　ソラマチはすごく大規模な商業施設のようだね。

親方　でんでんクンもそう思うかね。スカイツリーを挟む形で、東街区の東京スカイツリーイーストタワーの１～７階と、西街区ビルの１～４階を連結し、東西に広がる商業施設ソラマチを造営しているんだ。

世界一高いスカイツリーと周辺の大規模施設を作るという偉業を成し遂げたんだよ。この卓越したアイデアと実行力には驚嘆するね。

ソラマチの総面積は、約５万２０００㎡で、ファションや雑貨、食品、スイーツ、おみやげものなどを扱う店や飲食店など、３１２店が入っている。この店の中には、関東初出店、東京初出店の店や、ソラマチだけの独自業態を展開する店などもあり、多彩なんだよ。また、東京下町の味はもちろん、全国のご当地グルメが楽しめる飲食エリアも注目され、賑わっている。

でんでん　そんな広大な商店街の中を通ってスカイツリーに上がるのも大変だろうなあ。

親方　でんでんクン、いろいろ心配してくれるね。スカイツリー展望台の入口フロア（４階）は、西側のスカイツリー駅（旧業平橋駅）と、東側の押上駅につながっているんだ。東側からは、１階～４階までの１２１階段をツリーを見上げながら上がっていくようになっている。もちろんエスカレーターもある。実にうまく設計してあるんだ。

でんでん　ソラマチとスカイツリーの人出と賑わいはどうだったね。そして感想は。

親方　人でいっぱいだね。ソラマチの商店街の中は、東京駅や上野駅の改札口周辺の人出の感じだったね。スカイツリーに上がるのには、３時間も待たされたよ。

ソラマチ（西側ビル７階）の天ぷら・老舗のつな八と、レストラン・スバル（イーストタワー３１階）に入ってみたが、値段は市価の約２倍だね。

スカイツリーに上がるリピーターは、景色を見るだけなのであまり期待できないと思うよ。ただ、ソラマチは女性のリピーターが、大いに増えるね。女性は店内を周っているときの目つきが楽しみいっぱいで、男性と全く違うんだ。

でんでん　東京スカイツリータウンは、日本の新名所になり、世界中からも注目されそうだね。スカイツリーには、国内企業のさまざまな最新技術が生かされているとのことだが、それを要約して話してくれないかね。

親方　でんでんクン、きみも「でんでん・みと情報」につき合っているので、技術に関心をもつようになったね。それでは技術的なことだけでなく、エピソードを入れてポイントを話そう。それでは気のついたことを気楽に質問してくれたまえ。

スカイツリーとタウンの設計は世界一の日建設計

一級建築士が７００人以上

でんでん　では早速、このような大規模なことを設計したのは、どんな会社なのかね

親方　核心をつく鋭い質問だ。設計したのは日建設計である。

会社は１９００（明治３３）年に、住友本店臨時建築部としてできている。戦後、住友商事から分離独立。

国内外の公共、民間を問わず大規模開発の計画、設計を行っている。有名建築家との共作が多いね。

職員に一級建築士を７００人以上も抱える、日本で一番大きな設計事務所だよ。
英国の建築雑誌のランキングでは、世界一として掲げられたこともある。
タワーの分野でも東京タワー、名古屋テレビ塔、神戸ポートタワー、福岡タワーなど、数多くの実績を誇る。日本の名だたるタワーは、ほどんとが日建設計によるものといっていいね。

でんでん　会社は１１０年前にできているのか。一般にはあまり知られていないね。

親方　目立たないが、これが日本人の気質と実力なんだ。日建設計や英国の高速列車を製造している日立製作所の人たち（前述）だけでなく、その他大勢の人々は、地道にけんめいに働いて、日本の繁栄に貢献しているんだよ。

スカイツリー設計のため高峰・登山体験

高さ４５０m天望回廊のデザインに反映

でんでん　なるほど。日本は政治のレベルが低くても、このような人や一般国民が日本を支えているのかね。スカイツリータウン建設時に、日建設計のエピソードがあったら話して欲しいね。

親方　せっかくの機会だ。紹介しよう。
まず、日建設計・吉野 繁さんのスカイツリー展望台に対する発想と体験談を。
スカイツリーの設計受注が決まったとき、日建設計・設計責任者の吉野 繁さんはこう決心したという。「６００mという高さは、どういうものだろう。そんな建築物は、これまでなかった。思いついたのは〝山〟だった。山を登って、高さを実感してみよう」と。
それまで登山したこともなかったが、担当チームと一緒に、富士山をはじめ、いくつもの山を登った。その結果、約５年の歳月の中で、３０００m級の高峰は、ほどんと制覇したという。「スカイツリーの設計が終わっても山登りの趣味は続いている。すっかりハマってしまった」と笑っている。
登山の経験は、スカイツリーにどう生かされたのだろう。
それは例えば、天望回廊のデザインに反映されているという。これは高さ４５０mにある回廊（長く折れ曲がった廊下）の外側に、チューブのようなものが、らせん状に巻きついている。内部の床はスロープになっていて、来場者はこれを登りながら景色を楽しむ仕掛けになっている。
「槍ヶ岳では山頂のすぐ下に山荘があって、登山者はそこにリュックを置き、そこから上のわずか１００m足らずを登っていく。そんな感じで、スカイツリーでも最後は自分の足で登ってほしいと思った」
吉野 繁さんの発想と感性は、日本人特有の繊細で豊かなすばらしいものだよ。
私も現場で体験してみると、天望回廊は外壁が足元までガラス張りで、文字どおり空中を散歩しているような感覚を味わえたね。

そして下には、いままでに見たこともない大都市・東京の大パノラマが広がっているんだよ。晴れていれば、ここから富士山や筑波山、房総、三浦半島も眺められる。当日は、少し曇っていたのでそこまでは見えなかったが、東京ドーム、両国国技館、東京都庁まではっきり目に入ったね。

スカイツリータウンの建築確認申請書８００枚

変更提出回数は７回

つぎに、日建設計がスカイツリータウンの建築確認申請書８００枚を提出したことについて。

日建設計は、前例のないスカイツリータウン建設の大規模プロジェクトだけに、行政機関との調整にもかなり時間をかけたんだよ。

建築は多くの人が利用するし、街の景観や環境にも影響する。建築は社会的なもの。そこで施工前に、行政機関に設計内容を伝えて許可を得なければならない仕組みになっているんだ。

いわゆる建築確認申請である。今回、東京都に提出した建築確認申請書は、Ａ１サイズ（よこ８４ｃｍ×たて５９ｃｍ）で約８００枚にもなったとのこと。

設計図面のほか、防火設備、商業施設の内容、展望ロビーの広さなど、内容は詳細、多岐にわたる。提出の際、バインダーに挟もうと、折って積み重ねたところ、高さが５０センチを超えたというんだよ。

完成まで、建築確認申請書は、仕様変更などで計７回提出したという。一般市民には知られないところで、膨大な書類が作成されていたんだね。

スカイツリータウン建設従事者は１日８００人

延べ５０万人と数百の協力会社

でんでん　この大工事を完成させるのにどのくらい人が働いたのだろうね。

親方　良い質問だ。大林組によると、２００８年７月の着工から１２年２月末の完成まで、働いた作業員は延べ約５０万人。現場には延べ数百の協力会社が入り、鉄骨組み上げのときは１日５００人前後、内装や設備工事の際は１日８００人以上が作業したという。

この数字はあくまでも現場で働いていた人の数だ。設計をしたり、工場で部品をつくったり、それを運ぶトラックを運転したりといった人まで含めると、それよりもさらに増えているね。

この大勢の人たちが、鉄骨の組み立てには数センチの誤差も許されないスカイツリーという巨大な精密機械と、広大なソラマチを作ったのだ。その背後にある繊細な技術と、選りすぐりの職人群、一切妥協しない安全追及への努力。これらが一体となって世界最難関工事を成功させたんだよ。重ねて敬服したいね。

でんでん　吾輩も人間さまは、素晴らしい能力があると尊敬するよ。ここで働くようになった人間さまの数は、どのくらいなのかね。

スカイツリータウンの雇用創出は２４００人

親方　それは雇用創出というきわめて大事なことだ。スカイツリー社全体で約８００人が雇用されている。地元、近隣の方々は、優先採用である。

職種はチケット販売、来場者や駐車場での車の誘導、オリジナルグッツの販売、展望台グッツの販売、展望台カフェなどの接客、このほか清掃業務などである。

これにはソラマチの店舗の人たちは入ってないから、加えるとさらに増えるね。

３１２店×５人/店　１６００人をプラスすると、東京スカイツリータウンで働く人は約２４００人になる。

スカイツリー社は、４６００人の雇用を見込んでいるが、周辺の下町商店街も含めて試算しているのかも知れないね。

大きい雇用創出効果だ。

高さ３５０ｍに５０秒で到達

スカイツリー「展望デッキ」まで
日本最速の東芝エレベーター

でんでん　エースであるスカイツリーに取り入れられている新しい技術を知りたいね。

親方　スカイツリーにはさまざまな国内企業の最新技術が生かされている。

強度や省エネなどの性能を高め、結集した技術を取り入れたのが特徴だ。要約して説明する。

◆スカイツリー向けに新開発した高強度の鋼管（ＪＦＥスチールなど）

スカイツリー全体を支える鋼材は、ＪＥＦスチールや新日本製鉄、神戸製鋼などが製作した。特にＪＦＥスチールは、スカイツリー向けに同社で最も強度が高い鋼管を開発し、最多の約２万１０００ｔを納入した。

◆最大瞬間風速１１０ｍに耐えられるアンテナ（日立電線）

日立電線は、前述の地上デジタル放送用アンテナを開発した。強風への備えにも万全を期し、最大瞬間風速１１０ｍに耐えられるように製作した。

◆省エネ４０％以上減の地上デジテレビ放送の送信機（ＮＥＣ、東芝）

ＮＥＣ、東芝は、省エネ技術を駆使し、消費電力を４０％以上減らした地上デジテレビ放送の送信機を取り付けた。

◆スカイツリー先端部に精密な制振装置（三菱重工業グループ）

アンテナを支えるスカイツリー先端部には、三菱重工業グループが揺れをｍ・ｍ単位で制御する制振装置を開発し、設置した。

◆５００年に１度の強風にも耐えられる展望台のガラス（ＹＫＫＡＰ）

展望台などをカーテンのように包むガラス製の壁は、５００年に１度の強風にも耐えられる強度に製作した。

◆照明を全ＬＥＤ化で消費電力５０％削減（パナソニック）

スカイツリー頂部を含めた照明を、すべてＬＥＤにすることで消費電力を５０％削減した。ライティングのため外部に設置された照明器具の数は、１９９５台。これはスカイツリーのために最新技術を駆使し、開発された。

◆高さ３５０ｍ「展望デッキ」へ日本最速のエレベーターで（東芝エレベータ）

高さ３５０㍍の「展望デッキ」までは、東芝製４０人乗りの日本最速大容量エレベーターで上がる。所要時間は約５０秒。なお、「展望デッキ」は、１度に２０００人収容可能。

（参考）スカイツリーのエレベータは、東芝エレベーターと日立製作所が受注。

★受注内訳

東芝エレベーター：	地上から「天望デッキ」まで結ぶ一般客用 （６００m/分、所要時間約５０秒）	４台
	昇降距離４６４.４mで国内最長の業務用	２台。
日 立 製 作 所 ：	「天望デッキ」と「天望回廊」間（１００m）を結ぶ一般客用４０人乗り （２４０m/分、所要時間約３０秒）	２台。
	「天望デッキ」内移動用	１台。
	スカイツリーの足元の施設用	４台。

スカイツリーのライティングデザイン

隅田川の淡いブルーの「粋」と、
江戸紫と金箔を蒔いた優雅な「雅」

でんでん　まさにスカイツリーは、オールジャパンの製品だね。スカイツリーの外部全体に１９９５台の照明器具を付けたとのことだが、どんな照らし方をするのかね。

親方　夜になると美しくライティングするんだよ。ライティングデザインは「粋」と「雅」の２種類。

その輝きは、すぐ脇を流れる隅田川の水をモチーフ（表現のもと）にした淡いブルーの光が照らす「粋」と、江戸紫と金箔を蒔いたような優雅な印象の「雅」

これが一日交替でスカイツリーを照明する。「天望デッキ」、「天望回廊」の周りを１秒で１周する時計光など、流れ星のような光の演出も歓喜されている。

私も午後７時ごろ、タワーの真下から淡いブルー光の「粋」を眺めたときには、鈍感な自分だが、その鮮やかな姿には息をのむ思いで感動したね。

そのとき、これを設計したデザイナーには特別の才能があるんだ、とつくづく思ったよ。

でんでん　スカイツリーのライティングは、鈍い親方でも感激するんだ。素晴らしいんだろうなあ。吾輩も見たいね。ほかに特に印象に残ったことは。

スカイツリーの公式キャラクターは「ソラカラちゃん」

青い服を着て星の形の頭をした女の子
宝物の望遠鏡で周りの魅力を探索中

親方　スカイツリーの話題には、きりがないのでキャラクターのことなどを話して終わりとするかね。

グッズ売り場とキャラクターショップは、客が溢れていたね。すごい人気だったよ。

現在、スカイツリーグッズは約３００種類もあるそうだ。パズルや携帯ストラップ、ツリーマグカップ、菓子、ぬいぐるみ、ツリープラモデル、ツリー形のボトルウォーター、ツリー洋かんなど、非常に多彩だ。

スカイツリーの公式キャラクターは「ソラカラちゃん」である。紹介しよう。

「ソラカラちゃん」は、２０１０年１０月２６日生まれ、出身は〝とんがり星〟で、空からスカイツリーに舞い降りた、星の形の頭をした女の子。

青い服はスカイツリーの色と同じ。片足を上げた決めポーズは好奇心旺盛な性格を表し、おじいちゃんからもらった宝物の望遠鏡でツリーや周辺の魅力を発見している。そんな時には頭の星がきらきら光る。口ぐせは「ソラカラ　これから　いってみるから!」で、普段ははな歌を歌っていることが多い。夢は、スカイツリーで世界中の人と出会うこと。

「ソラカラちゃん」のグッズ売り場に入ろうとしたら、あまりにも多い人々に外へ押し出されてしまい、中を見ることはできなかったね。

でんでん　暑い中、見学したスカイツリーの話は、大いに参考になったよ。ありがとう。

それにしても日本の人間の皆さんは、それぞれ問題があるにしても幸せだね。

日本は連日、ロンドン・オリンピックでの日本選手メダルラッシュに歓喜、感動しているしね。

内戦状態のシリアではそんなことはできないよ。お互い熱中症にならないよう、気をつけて頑張りましょう。

（文責　小沼　甚一）

■参考文献

『東京スカイツリーの誕生』（山田 康雄　鳳書店）
『東京スカイツリー完成までの軌跡』（日本経済新聞出版社）
『６３４の魂』(磯 達雄　徳間書店)
『東京スカイツリー』（平塚 桂　ソフトバンククリエイティブ）
『東京スカイツリータウン＆周辺ガイド』（扶桑社）